

高等学校における特別支援教育の指導充実の取組

山本裕子 養護教諭 北海道月形高等学校

長年にわたり、高等学校及び特別支援学校の養護教諭として、保健指導や健康相談等の充実に取り組むとともに、生徒の実態に応じた保健・安全年間計画や校内救急体制のマニュアル作成、PTAや学校医等の関係者が出席する学校保健委員会の開催、全校生徒一斉に保健指導を行う「月高すこやかなの日」の実施等、生徒に寄り添った保健室経営を実践している。



特に、特別支援教育コーディネーターとして、個別の教育支援計画や指導計画の作成及び校内体制づくりに尽力し、特別な教育的支援を要する生徒が安心安全に過ごすことができる環境づくりの中心的な役割を担ったほか、特別な教育的支援を要する生徒の入学に際して、中学校との引継書を空知管内でいち早く取り入れたり、授業者が生徒の様子を記入して、他の教員と情報共有するための簡易様式を作成するなど、支援の充実を図るとともに、その取組の成果を、「特別支援教育充実セミナー」で発表するなど、空知管内の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げている。

また、各種生徒支援制度の積極的な活用や関係機関との連携に努め、障害者就労支援センターとの連携によるインターンシップの実施や、生徒保護者の就職に対する不安を取り除く相談体制の構築を図るなど、その実践は高く評価されている。

【主な業績】

平成3年度 北海道高等学校PTA連合会「高P連大会全道大会」発表（共同発表）

平成9年度 北海道高等学校養護教諭研究協議会・研究発表

平成25年度 北海道教育委員会「特別支援教育充実セミナー」提言発表

平成25年度 北海道教育委員会「高等学校・特別支援学校ネットワーク会議」研究発表